# 御前崎市立浜岡北小学校



静岡県埋蔵文化財センター

令和4年6月21日(火)

## 「教室での学びが、本物の学びにつながったと思います。」

御前崎市立浜岡北小学校の6年生25人が、体験を通して大昔の人々の知恵や工夫に触れ、学習への理 解を深めることを目的に、浅岡先生が出前授業を計画し、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つ の体験活動を行いました。

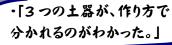
### 土器の分類体験



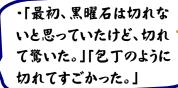
歴史の授業が始まって、縄文時代が終わったところ でしたので、学習進度としてはバッチリでした。まず はじめに土器片を3つに分けてみました。縄文土器と 弥生土器の違いは明らかにわかりますが、弥生土器と

須恵器の違いには苦労していました。

答え合わせの時に、土器の作り方を 知り、弥生土器と須恵器の形や 色、ろくろを使った跡などを見 分け、分類することができまし た。













はじめは、打製石器や磨製石器などを紹介し、石 器の役割や必要性などを考えました。石で木を切り 倒したり、土を掘り起こしたりすることができるこ とを本物の石器を見ることで納得しているようでし た。次に、黒曜石を箱から取り出して試し切りです。 新聞紙が切れるかを試しました。力の入れ方がわか ると切れ始めました。ニンジンやキャベツの芯など の堅いものも細かく切っていました。黒曜石の切れ 味の良さに、とても驚いていました。

### 火起こし体験



小雨の降るあいにくの天候でしたが、テントの下でデモン ストレーションを行い、校舎の軒先で火起こしをすることが できました。火起こしの経験のある子がわずかでしたので、 興味津々です。みんな慎重に弾み車を回し、火種を作ろうと しますが、湿気の影響で多少火種ができにくかったようで

す。フーフータイムも頑張って火・「火が起こせなかった。それだけ難 ・「とっても楽 を起こすことができました。 しかった!」

しいということがわかった。」「難しか ったけど、できてうれしかった。」

#### 先生の感想

「体験すること、実物に触れることの意義を改めて実感できる活動でした。3 つの内容 の時間配分が適当で、どの活動も充実して行うことができました。この時代の大切な ポイントをおさえた説明と、活動時間も十分にとっていただけて、より学びを深めるこ とができました。やってみたいという思いが表情や行動からはっきりと見てとること ができ、主体的に学びに向かう姿がわかりました。」

